

針谷市長

所

信

表

明

12月27日から第4回市議会定例会が開かれ、針谷市長が所信表明を行いました。
所信表明は、市を取り巻く課題に全力で取り組む決意を表した内容です。

※全文は市公式ホームページに掲載してあります。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

深刻な人口減少時代に突入し、東京一極集中が際立つ中、こうした状況に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、地方自治体は、地方版の「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定が義務づけられたところであります。

本市においても、平成27年度から地方版総合戦略の策定と並行し、地方創生関連交付金を活用した移住・定住を促進する事業等に積極的に取り組んでまいりました。今後も、これら国の交付金等を活用しながら、総合戦略に位置づけする施策を柱に、地方創生に着実に取り組んでまいります。

人口減少・少子高齢化の進行に伴って市税収入の減少や社会保障関連経費の増加が懸念される中、喫緊の課題である人口減少対策や暮らしの変化を感じていただける施策・事業を持続的に実施していくためには、財政基盤をさらに強固なものにしなければなりません。

市税徴収率の向上、あらゆる財源の確保、税源の涵養などにより歳入基盤の強化を図るとともに、経常経費の抑制、費用対効果を重視した施策・事業の検証などにより歳出の削

減に取り組めます。あわせて、基金への積み立てと有効活用、市債の発行抑制などにより後年度負担の軽減に努めるなど、より一層の財政健全化および行財政改革に取り組む必要があると考えております。

今、自治体の消滅すら危惧される人口減少社会の中で、「地方創生にどう立ち向かい、将来を切り拓いていくのか」。まさに、これからの4年間の取り組みが本市の命運を大きく左右するといっても過言ではありません。常に時代の潮流を読み取り、一歩先を見据え、本市の持つ強みを最大限に発揮して、相乗効果の高い政策を実践してまいりたいと決意を新たにしております。

これから4年間、市政を進めていく上での重要な視点として「5つの柱」を中心に述べてまいります。

市民とともに歩むまちづくり

限られた市の経営資源の中で、さまざまな主体と連携、協働する仕組みを確立させ、市民の皆さまが積極的に市政に参加し、地域の連帯感により自治が営まれるよう、必要な情報や参加の場を提供し、コミュニティづくりやコミュニティ活動を支援します。

高度経済成長期から定住している市民の急速な高齢化に起因する健康・医療・福祉等の課題が今後ますます深刻化することが予想されます。そのため、市民・市民団体・企業等と協力し、社会全体でその解決に取り組む環境をつくり、総合戦略に位置づけた「地域と地域が連携し、安心な暮らしを守り、将来を

